

55プラス

50代からの結婚①



内海桂子さん（左）と夫でマネジャーの成田常也さん。内海さんのツイッターは成田さんが入力、若者に人気だ＝東京都台東区の自宅

再出発踏み切って「幸せ」

都内在住の男性勤務医（63）は「再婚して幸せ」と言う。10年以上交際した女性（39）と婚姻届を出したのが60歳。一線は退いたが、今も経験を生かして働く。夜は新生活を機にリフォームした一戸建てでくつろぐ。

30代前半、長続きしない恋愛の繰り返しが面倒になり、5歳下の女性と見合いした。「悪くないか」。軽い気持ちで所帯を持った。妻の運び込んだグラランドピアノが、狭いマンション

の一部屋を占領した。まもなく娘、息子が生まれた。転勤命令で一家で地方に引っ越したが、やがて進学に備えて単身赴任にした。

しばらくして、妻の教育方針に違和感が強まった。娘の中学受験では合格の可能性ゼロの名門校ばかり選ぶ。息子が高校を休みがちになった時は、「ちゃんと行け」と叱る自分を遮るよろろに、脳の病気の名医探しに奔走した。

でも対等に話し合えた。夫の収入頼みで家を守る妻の生き方に、どんどん心が離れていく。何年も病院の当直室に寝泊まりした末、不倫を認めて慰謝料を払い、5年前に離婚した。

いま、週末になると改築後の自宅に友人を招く。仕事を続ける妻が疲れを癒やすように犬をめぐる横で、手製ローストビーフを自ら切り分ける。

でこなす平日の家事も楽しい。「熟年の再出発を、『いい年をして』と冷ややかに見る社会ではなくなりつつある気がします」

漫才師の内海桂子さん（88）は還暦を過ぎて結婚した。相手は24歳下で、米国に暮らす航空関連会社員だった。一年半に300通以上のラブレターが届き、誠実な人柄に魅せられた。

だが実の息子より若い相手に、子どもたちの賛同は得られなかった。「家族と伴侶とでは面倒の見方が違う。50代以上は結婚しちゃう。50代以上は結婚しちゃう。ダメなんてことはないんですよ」（高橋美佐子）

▼あすは「添い遂げるカタチいろいろ」です

◆ご意見・体験はseikatsu@asahi.com

55プラス

50代からの結婚②

シニアの事実婚の留意点は？

認められるもの

- 住民票…別姓でも続き柄に「妻(未届)」「夫(未届)」と記載可
- 公営住宅の入居…上記住民票があれば入居可
- 事実婚を解消した際の厚生年金分割・財産分与請求・慰謝料請求

認められにくいもの

- 夫婦としての介護施設への入居
- 相手の死亡退職金や生命保険の受け取り
- 相手の死亡事故時の逸失利益や慰謝料請求

認められないもの

- 配偶者控除、医療費控除、法定相続権
- 成年後見の申し立て
- 相手の入院時の保証人、医療行為の同意



グラフィック・吉村善治郎 / The Asahi Shimbun

壁超えて「最期」寄り添う

若い世代の結婚件数は減っているが、熟年の結婚は増えている。大幅に伸びたのは男性の初婚。2009

年は、1980年に比べて50代が11・1倍、60代が12・5倍。女性は高齢の再婚が目覚ましく、70代以上で10・3倍、60代で7・1倍(09年人口動態調査)。

長い歴史を刻んできた同士が夫婦になる。婚姻届を出さない「事実婚」を選んで添い遂げた例もある。

「二度目の青春のように華やいだんです」。神奈川県

若い世代の結婚件数は減っているが、熟年の結婚は増えている。大幅に伸びたのは男性の初婚。2009

年は、1980年に比べて50代が11・1倍、60代が12・5倍。女性は高齢の再婚が目覚ましく、70代以上で10・3倍、60代で7・1倍(09年人口動態調査)。

長い歴史を刻んできた同士が夫婦になる。婚姻届を出さない「事実婚」を選んで添い遂げた例もある。

「二度目の青春のように華やいだんです」。神奈川県

若い世代の結婚件数は減っているが、熟年の結婚は増えている。大幅に伸びたのは男性の初婚。2009

年は、1980年に比べて50代が11・1倍、60代が12・5倍。女性は高齢の再婚が目覚ましく、70代以上で10・3倍、60代で7・1倍(09年人口動態調査)。

長い歴史を刻んできた同士が夫婦になる。婚姻届を出さない「事実婚」を選んで添い遂げた例もある。

「二度目の青春のように華やいだんです」。神奈川県

若い世代の結婚件数は減っているが、熟年の結婚は増えている。大幅に伸びたのは男性の初婚。2009

年は、1980年に比べて50代が11・1倍、60代が12・5倍。女性は高齢の再婚が目覚ましく、70代以上で10・3倍、60代で7・1倍(09年人口動態調査)。

長い歴史を刻んできた同士が夫婦になる。婚姻届を出さない「事実婚」を選んで添い遂げた例もある。

「二度目の青春のように華やいだんです」。神奈川県

若い世代の結婚件数は減っているが、熟年の結婚は増えている。大幅に伸びたのは男性の初婚。2009

年は、1980年に比べて50代が11・1倍、60代が12・5倍。女性は高齢の再婚が目覚ましく、70代以上で10・3倍、60代で7・1倍(09年人口動態調査)。

長い歴史を刻んできた同士が夫婦になる。婚姻届を出さない「事実婚」を選んで添い遂げた例もある。

「二度目の青春のように華やいだんです」。神奈川県

県の女性(72)は今年1月に他界した夫に享年78を涙と笑顔で振り返る。互いの家を行き来する「通い婚」で数年間を共にした。

10年前、仲間とのバス旅行で、1人で来ていた男性に「ご一緒に」と声をかけたのがきっかけ。相手も別した伴侶の三回忌直後だった。しばらくして交際を申し込まれたが、90歳近いしゅうとめとの自身の暮らしを考えて、遠慮した。

文通やたまに食事する関係が2年ほど続き、物静かな紳士とわかった。ある日「樹氷を見に行こう」と手紙が届いた。介護だけの日

常は苦しい。何のために生きてるの？ 悩んだ末「優しい嫁になりたいから一緒に行きませう」と書いた。

同じ布団に入ったが性的関係は不成立。「無駄な努力はやめよう」と笑い合った後、婚姻届を出さないことで一致した。

男性は横浜市で单身生活。女性が自分の資産である近所のマンションへ転居を勧めた。男性は「家賃の一部を支払う」と言い、車で数分の距離に近づいた。

昼食はしゅうとめも交えた3人で、男性の孫とも親しくなった。だが昨年、男性が入院。戸籍上の妻でな

い女性は病院の説明を受けられず、初めて男性の娘と対面、「一緒に看病させて」と願い出た。3人が交代で見舞う病室で、男性は静かに息を引き取った。

熟年世代の結婚には、自分や親の介護、財産の管理、相続など、若い世代とは違う壁がある。ファイナ

ンシャルプランナーの山田静江さんは「いつか介護される側になることや死んだ後を、残されるパートナーの身になって考えて。結婚の形により利点や欠点」表

IIがあるの、事前によく話し合ってほしい」と助言する。

◆ご意見・体験はseikatsu@asahi.com

▼あすは「出会いのチャンス、どうする？」です

朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

55プラス

50代からの結婚③

結婚観 男女で大きな溝

シニア向け結婚相談サービスの例

茜会(東京都) 0120-18-5678

50代が中心。初期費用はコース別で3万~16万円のほか、月会費や見合い料などが別途必要。成婚料なし

太陽の会(全国9カ所) 東京本部 03-5386-6221

民間の福祉団体。男性50歳以上、女性45歳以上。入会金2万円、月会費が男性3千円、女性2千円、成婚料5万円(地区によって異なる)

日本青年館結婚相談所(東京都) 03-3475-2566

男性のみ55歳以上の「エルダー・アフタヌーン」のついでがある。今年11月末で閉鎖予定



グラフィック・吉村 善治郎 / The Asahi Shimbun

晩婚化が進み、熟年離婚も増える今、パートナーがいない中高年層を対象とした「結婚相談サービス」への関心が高まっている。シニア婚活だ。会費を払って自分のプロフィールを登録し、希望に沿う見合い相手を紹介してもらったり、合コン形式のパッケージに参加できたりするシステムが多い。

インターネット検索で相手を探せるところもある。昨年、大手業者を利用したのは都内在住の作家松田美智子さん(61)。離婚して28年、執筆に追われる生活に疲れを感じ、「今後の人生を支え合える伴侶がほしくなった」と明かす。

入会後数日で2人から見合いを申し込まれた。80代前半と70代後半。そこまでの高齢は想定外で、自ら①58~70歳②関東在住との条件を入力して探し始めた。該当者300人弱からプロフィールなどで選んだ18人に見合いを申し込むと、応じたのは1人だけだった。

対面した同世代の未婚者は、同居の母親が亡くなったさみしさを切々と訴えてきた。同情以上の気持ちがかわかず断った。翌日、新たに見合いを申し込まれた元管理職と会うと、過去の交際相手の悪口ばかり。「女性が自分の思い通りにならないとカッとする」と言い放つ態度に幻滅した。

業者に問い合わせると「40代以降の男性が求める女性は10~20歳下。だが成婚カップルにそこまでの年齢差はなく、ほどほどを知人たち」と傾向を教えてください。継続は非効率と考

◆ご意見・体験はseikatsu@asahi.com

▼あすは「熟年結婚の心構え」です

55プラス

50代からの結婚④

「あきらめない」が大切

長寿社会では、離婚や死別で伴侶を失った後、新たなパートナーを求める。一方で「孤族の国」と呼ばれ、単身者が急増している日本。50歳までに一度も結婚したことがない「生涯未婚率」は2005年で男性が15・96%、女性が7・25%。今後上昇を続け、30年には男性で3割、女性も2割を超えるといわれる。

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「中年の恋愛と性にまつわる著作が多い作家工藤美代子さん(61)はこう話す。

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

「熟年離婚が増えるなか、再出発へのノウハウや実態を知りたい声が強まっています。どんな点に注意すればいいのだろうか？」

熟年結婚したいと思ったら？

- 身だしなみに気を配る
- 相手の話じっくり耳を傾け、拒絶しない
- 性的関係を一方的に迫らない
- 相手が寝たきりになった時の覚悟を持つ
- 運命の人を信じて、あきらめない



グラフィック・くぬぎ 太郎 / The Asahi Shimbun

▼次回は7月1日から「手軽に野菜作り」です

婚相談所「アイシニア」

(東京都)も会員同士で健康診断書を交換してもらう

ことにしている。「両方が何らかの持病を抱えている可能性もあり、どちらかに介護一辺倒の生活を強い

リスクを減らしたい」と池田淳一社長(40)は話す。

とはいえ、シニアで結婚したい人に最も大切な心構えは「あきらめない」。昨年8カ月間で計6人と見合

いして全滅だった作家松田美智子さん(61)は「いまも地道に継続中」という。

(高橋美佐子)